

「世俗化」を中心に

石井 研士

1. 本論の目的

「世俗化」の問題が、宗教社会学の中心課題として1960年代に登場して以来、はたしてどれだけの論文、著作が輩出されてきたのであろうか。すでにヤン・スィングドーが指摘しているように（「世俗化問題に直面している宗教社会学」（『思想』1979年、665号）、今日宗教社会学の動向の全体を把握することはきわめて困難な作業となっている。社会と宗教の関係を問題にする場合には、たとえ直接「世俗化」に言及することはなくとも、「世俗化」を念頭において分析が進められていることは明らかであり、膨大な量の文献や著作を目の前にして途方に暮れているのは筆者だけではないだろう。（たとえば、ドブラーレ（Dobbelare, 1981）はその著作の巻末の文献解題において、「世俗化」に関する文献として248をリスト・アップしている。また、すでに田丸徳善が指摘しているところであるが（「世俗化の問題—その予備的分析」（『CISR東京会議紀要』CISR東京会議組織委員会、昭和54年）、グラスナー（Glanser, 1977）の文献目録には255、またマーティン（Martin, 1978a）の文献目録には555の文献が掲載されている）。

ここではもっぱら最近の英語文献を中心に、管見の及ぶ範囲で、必ずしも網羅的ではないが、世俗化を中心とした現状における問題の所在の把握を目的として、文献の紹介を行うことにする。

2. 「世俗化」理論の現状

「世俗化」の問題は、実に多くの研究者の関心を惹起したのであるが、その一方で「世俗化」の概念は様々な意味に解釈されるようになった。なぜ「世俗化」の概念が多義的な意味をもつにいたったかは興味ある問題であるが、1970年代後半から、この複雑な概念を整理分類しようとする試みがなされるようになった（グラスナー（Glanser, 1977）、ルックマン（Luckmann, 1977）マーティン（Martin, 1978a, 1978b）、フェン（Fenn, 1978）、そしてドブラーレ（Dobbelare, 1981）など参照）。それぞれが従来の「世俗化」の概念を整理しながら独自の立場を打ち出している。とくにドブラーレの著作は、「研究動向報告」と副題がついているように、「世俗化」を多面的概念としてとらえ、「世俗化」理論の歴史的展開の経緯をふまえながら、その意味内容を分析することに重点が置かれており、巻末の文献解題は非

常に便利である（なお、「世俗化」の概念、歴史的展開、そしてその問題点を扱った邦語文献としては、前掲のスィングドー・田丸およびスィングドー『「和」と「分」の構造』（日本基督教団出版局、1981年）を参照）。

(1) 「世俗化」の理論的研究

スィングドー（前掲書）は、「世俗化」をめぐる現在の研究状況（1979年当時）を二つに分けて述べている。ひとつは「理論的研究」であり、今ひとつは「主題選択の脱・教会中心化」である。「世俗化」の概念、あるいは理論的研究については、現代社会における社会構造、文化と個人の生活形態との関係について述べたロバートソン（Robertson, 1978）、現在の世界情勢下における神学的、宗教的伝統について述べたバーガー（Berger, 1979）、キリスト教の儀礼や言葉あるいは音楽にあらわれたイメージやサインを通して、現代社会とキリスト教の関係を考察したマーティン（Martin, 1980）、NORCの調査資料を用いて質問紙による宗教的イマジネーションの分析を行い（Greeley, 1981）、「世俗化」ではなく「世俗」理論を展開するグリーリー（Greeley, 1982）、宗教的言語に着目してその世俗化を論じたフェン（Fenn, 1982）、「対抗文化」という概念を用いて現代社会における社会的変動を論じたインガー（Yinger, 1982）、あるいはウィルソンの最新刊（Wilson, 1982）など新しい試みがなされていないわけではないが、すでに述べたように、現在は整理の段階とでもいえる時期であって、全体としては一段落の感がある。これに対して、現在注目されているのは、「主題選択の脱・教会中心化」の問題であり、「世俗化」の検証を広く伝統的な教会をこえて行おうという試みである。

(2) 主題選択の「脱・教会中心化」

ルックマンは『見えない宗教』（1967）において、宗教社会学の教会への偏向を指摘し、宗教の内心倫理化、つまり宗教の個人化（宗教の個人化についてはフェン（Fenn）も参照）を主張した。宗教の内心倫理化や個人化に関しては、論争がおきたものの（ウィルソン（Wilson, 1976）、シュタウファー（Stauffer, 1973）、あるいはベラとフェンの論争（後述）を参照）、現在では広く受容されるにいたっている。結局ルックマンらの主張は、研究対象の脱・教会中心化の引き金になったわけであるが、その方向には二つ考えることができる。一つは、宗教を人間性一般に拡大解釈して哲学的人間学的理論を展開する理論的方向であり、今一つは、これまでは宗教的と考えられ

なかった人々の宗教性を改めてとらえなおし、具体的な調査によりその存在を検証しようとする実証的な方向である。そして最近では後者に多くの文献がみられるようである。

個人の宗教性の測定については、すでに1920年代から始まり(研究史の概略と文献目録はキング(King, 1972)を参照)、1960年代にもグロックとスターク(Glock and Stark, 1965)、フォークナー(Faulkner, 1966, 1969)そしてキング(King, 1969, 1972, 1975)など多くの研究者が分析にあたり、現在にまでひきつがれている。しかし「世俗化」が宗教社会学の中心テーマとなるにおよんで、ルックマンやフェンの主張する宗教の個人化を測定するために、あるいはこのいわゆる「見えない宗教」の存在を検証するためにその試みがなされるようになった。たとえば、ルックマンに影響されてインガー(Yinger, 1969)は、“Non-Doctorinal”な宗教の存在を質問紙調査により明らかにしている(この論文に対しては、設定した質問項目に伝統的な宗教への偏向がみられるとするネルゼン(Nelsen, 1976)やルーフ(Roof, 1977)の批判がある)。また、マチャレクとマーティン(Machalek and Martin, 1976)は、インガーの用いた宗教の定義を改良して、「見えない宗教」の検証にあたり、その存在を確かめている。

また最近の個人の宗教性と世俗化との間ではヘイ(Hay, 1979)がイギリスでの宗教性の高さと同統的信仰との不一致を検証して、教会と宗教との同等視への疑問を投げかけており、またマッカリスター(Mcallister, 1981)は、女子大生の宗教意識調査から世俗化の問題を考察している。これらは、質問紙によるか面談によるかは別としても、宗教性を示すと考えられる設問を新たに作成し、その回答の統計的分析により、個人の宗教性を抽出することを目的としている。

今ひとつ注目されるものに、「教会に帰属しない人々」(“Unchurched”あるいは“Independent”)、そして不信仰(disbelief)や非信仰(unbelief)の問題がある。伝統的な意味からすれば宗教的ではない「非教会帰属者」も宗教と教会とを一致させることがなければ、これらの人々も研究対象となる。「非教会帰属者」に関する研究では、ヴァーノン(Vernon, 1968)、フィナー(Finner, 1970)らの研究があるが、最近では、継続的に「非教会帰属者」の分析を行っているヘイル(Hale, 1977, 1980)、宗教的非参加者と世俗的成功との関心を論じたウェルチ(Welch, 1978)、宗教集団へのアイデンティティを持たない者とアイデンティティを持ちつつ教会に帰属しない者との比較を行ったハダウェイとルーフ(Hadaway and Roof, 1979)、宗教への関心と教会への出席との関係を分析したマッキントッシュ(MacIntosh, 1979)、教会非帰属者のシンボリック・インターアクションの研究を行ったプリンカーホ

フとパーク(Brinkerhoff and Burke, 1980)、プロテスタントでありながら非教会帰属者である者のタイポロジーを論じたペリー(Perry, 1980)、そして宗教の定義にさいして、岸本英夫の定義を引用しながら、非伝統的な宗教的信仰の構造と測定の問題を試みているケアードとロー(Caird and Law, 1982)などがある。その他にも「不信仰」に関しては、ネルゼン(Nelsen, 1981)などがあるが、発行年数は若干古いものの、カポラーレとグルメリ(Caporale and Grumelli)の編集した『不信仰の文化』(1971)は、パーソンズ、ベラ、ルックマンを初めとする壮々たる研究者が執筆しており重要な文献である。

こうした試みはどれも、本質的に宗教の定義の問題を含んでいると同時に、研究対象を狭い教会志向の宗教からはずすことによって、行為の主観的意味や正当性の問題(Weber)、あるいは社会的事実の客観的事実性(Durkheim)といった、きわめて古くてかつ新しい問題意識へと宗教社会学を回帰させることになったといえる。この点に関して多くの研究者が論じているが、最近の文献の中では、とくにロバートソンが編集した『アイデンティティとオーソリティ』(Robertson ed., 1979)が興味深い。

今一つ「脱・教会中心化」の問題として考えられるものに、「市民宗教」があるが、これについてはやや詳しく後述する。

(3) 宗教の復興

次第に世俗化していく社会において、伝統的な社会形態としての教会が衰退していった一方で、これとは逆行するような現象が見られるようになった。アメリカにおける保守主義派のデノミネーションの隆盛や、世界規模でのカルトや新しい宗教運動の発生がみられ、そのうちの一部は衰退し消滅したものの、スノウがいうように(Snow, 1982)、これらの非伝統的宗教はけっして脆弱なものではなく、現代社会における重要な一側面として考えられる。

デノミネーションに関しては、1960年代にグロックとスタークが予言した保守派のデノミネーションからリベラルなデノミネーションへの移行説があるが(Glock and Stark, 1968)、情勢はハダウェイ(Hadaway, 1978)やルーフ(Hadaway and Roof, 1979)が指摘するように、むしろ逆の方向へ向かっているようである。保守派教会の隆盛のまとまった分析としてはケリー(Kelley, 1978)やバウム(Baum, 1981)の著作がある(なおアメリカにおける1950年から1978年までの諸教会の盛衰に関しては、ホーグとルーゼン(Hoge and Roozen, 1979)を参照)。しかしこの点についても、マックゴオーは後に検証しているが(McGaw, 1980)、逆にハダウェイはプレズビテリアンを事例として、神学上の保守主義と教勢の伸長との間には必ずしも関係が見られないという事例を紹介しており(Hadaway, 1980)、

今後とも実際の調査研究が積みかさねられていく必要があると考えられる。

しかしながら、「宗教の復興」とみられる現象の中でも最も注目される宗教現象は、カルトや新宗教、あるいは新しい宗教運動(New Religious Movement)と呼ばれるものである。これに関しては、1960年代後半から学問的な文献が現れはじめたが、1970年代に入って、きわめて多くの研究、調査文献が見られるようになった。この分野における最近の文献としては、ニードルマンとベイカー(Needleman and Baker(ed.),1978)、ワスナウ(Wuthnow,1978)、ドネル(Donnel,1980)、シューペとブルームレイ(Shupe and Bromley,1980)、ロビンスとアンソニー(Robbins and Anthony(ed.),1981)、ウイルソン(Wilson(ed.),1981)、そしてティップトン(Tipton,1982)を初めとして、毎年多くの著作が出版され、論文も研究誌に頻繁に掲載されている(この分野の動向に関しては、別の機会に述べたい)。

また新しい宗教運動ではないが、発達した産業社会におけるこうした現象にとどまらず、イランやアフリカでのイスラムの爆発、あるいはアイルランドやポーランドでのカトリックの隆盛などが伝えられるなかで、その方面での文献も現れるようになった(たとえば、ムルダー(Mulder(ed.),1983)はザイール、南インド、そしてイスラム世界での「世俗化」を扱っている)。しかし、このような現象をも含めた形で「世俗化」の概念を用いることに分析概念としてどれだけの有効性があるかは疑問であり、メアリー・ダグラスは、これらの現象をふまえたうえで、人類学の立場から「世俗化」理論を批判している(Douglas,1982)。

こうした「宗教の復興」に関しても、理論化しようとする試みがなされている。たとえば、ベルは三つのタイポロジーを設けて説明しており(Bell,1977)、最近ではミシェルが四つのタイポロジーを設定して同じ試みを行っている(Michel,1981)(しかし、ウイルソンは、ベルは「世俗化」の概念を広げすぎるとして批判を加えている(Wilson,1979))。

(4) 「世俗化」理論の国際化

これまで世俗化はもっぱら西洋社会を中心に分析が進められてきたが、最近では他の国においても研究されるようになってきた。この点では、世俗化理論の通文化的研究が進んでいるといえる。Social Compass(1981,28(1))では、「世俗化」の特集が組まれ、これまであまり紹介されることのなかったハンガリーを初めとして多くの国の世俗化について報告されている(Tomka,1981)。この他にも、オーストラリア(ホーガン(Hogan,1979))、ベルギー(ドートルルー(Doutreloux,1978))、さらにはラテン・アメリカ(ロドリグ

ス(Rorriguez,1978))アフリカ(コーツィー(Coe tze,1978))などがある。これらはどれもキリスト教会の守備範囲や社会的位置、意味体系への影響力などを問題にしている。

3. 「市民宗教」

ロバート・ベラー(Robert N. Bellah)が、1967年にDAEDALUS誌上で「市民宗教」を論じて以来(Bellah,1967,1970,1974a,1974b,1975等参照)、「市民宗教」は、この言葉と内容自体は必ずしも新しいものではなかったにもかかわらず、政治と宗教、あるいは国家と宗教を考える上での一つの中心的なテーマとなった。そして1970代前半は、ベラーの提示した「市民宗教」に対して、その内容、存在の有無、あるいは測定などをめぐって、様々な角度から活発な論議が起った。こうした中では、カットラー(Cutler,1968)、コールマン(Coleman,1970)、チェリー(Cerry,1970)、ノイハウス(Neuohouse,1970)、フェン(Fenn,1970,1972,1974)、グリーンリー(Greeley,1972)、ノバック(Novak,1974)、そしてリッチェイとジョーンズの編集した『アメリカの市民宗教』(Richey and Jones(ed.),1974)は重要な文献である(コールとハモンド(Cole and Hammond)、マーティン(Martin)などの論文が含まれている。初期の文献については、ボードマンとフックス・クライナー(Boardman and Fucks-Kreiner,1975)に10ページにわたる文献目録がのっている。また、初期の研究動向については、ハモンド(Hammond,1976)を参照。)

(1) 現在の問題の所在

こうした中で、1975年のSociological Analysisの年次会議において、「市民宗教」を中心テーマとするシンポジウムが開かれた。フェン、ギャレット(Garett)、シュタウファー(Stauffer)、ウィンベリー(Wimberley)の4人が論文を発表し、それにベラーが答えている。(このシンポジウムの報告はSociological Analysis(1976,37(2))に掲載されており、ボーグ(Bourg)がそれぞれの発表を要約している。)しかしながらそれ以後は、「市民宗教」の概念や内容自体、あるいはその存在の有無については必ずしも活発な展開を示しておらず、むしろ様々な見解を整理分類しようとする傾向が見られる。(Williams,1980;Gehrig,1981a,1981b)など参照)。

現在、問題関心は、ベラーが「市民宗教」という言葉によって考えようとした社会的正当性の問題や社会統合の問題と、今一つは、「市民宗教」をアメリカ社会に限定せずに、広く政治と宗教、国家と宗教との関係の問題と考えて、他国の「市民宗教」と比較考察する試みへと

と移ってきているように思われる。

(2) 「市民宗教」と社会的正当性

まず第一の問題関心は、ベラーの最近の論文題名からも明らかのように、アメリカ社会における行為や価値観の正当性、あるいは社会的規範や社会秩序の問題である。この点については、ベラー(1976)とフェン(1976)の論争を通じて問題が先鋭化していった。これらの対立点をゲーリック(Gehrig, 1981b: 15)に従って要約すると次のようになる。「(1)アメリカ社会はイデオロギーの全体として存在するか。(2)宗教は現代社会に対して道徳的統合を提供しうるか。(3)アメリカの「市民宗教」は現代の生活における社会的事実として存在するか。(4)「市民宗教」は20世紀におけるイデオロギーの刷新の基盤たりえないか。(5)道徳に関して破綻した社会において市民の再結束を求めるのは科学者のなすべき正当な役割か。」ゲーリックによれば、ベラーはこれらのすべてを肯定し、フェンはすべてを否定したのだという。こうした問題がアメリカ社会全体の問題へと広がっていくと、正面から「市民宗教」の問題として取り組むことは困難になる。ここでは「市民宗教」に関する文献に限定すると、こうした問題解釈の端緒として、新宗教の研究成果が取り入れられていることが注目される。(Phelan, 1979; Robbins, 1976; Robbins and Thomas(ed.), 1981など参照)こうした試みは、新宗教のひとつのタイプロジーであると同時に、新宗教を広く社会の中に位置づけて考える試みである。

(3) 「市民宗教」の比較考察

また、「市民宗教」の比較考察であるが、これはもともと「市民宗教」という言葉を案出したのがルソーであったように、必ずしもアメリカ社会に限定されて用いられるべき概念ではない。ベラーが用いた当初は専らアメリカ社会の自己理解を目指すものとして解釈されたが、カットラー(Cutler, 1968)のように「市民宗教」をアメリカ社会に限定せず、フランス革命から第二次大戦までのフランス社会や、シェークスピアやミルトンの時代のイギリス社会などを考えるものもいた。1980年に出版されたベラーとハモンドの共著になる『市民宗教の諸相』(Bellah and Hammond, 1980)は、比較を念頭において書かれている。このなかでベラーは、日本とイタリアの「市民宗教」を、またハモンドはメキシコの「市民宗教」については、コールマンとデイビス(Coleman and Davis, 1978)も扱っている)。さらにハモンドはこの本のなかで、115に及ぶ現代社会を、religious pluralism, legal development, そしてsocial complexityの三つを基準として、体系的な分類を行っている。また、ド・アツェベド(De Azevedo, 1979)は、アメリカの「市民宗教」にならって、ブラジルの「市民宗教」を歴

史的経緯を踏まえながら分析を試みている。このほかに最近では、アジア圏における「市民宗教」を論じたものもみうけられるようになった。日本については、すでにベラーが近代化と関連して言及しているが、マレーシアやタイの研究が注目される。レイノルズ(Reynolds, 1977, 1978)は、タイの状況がベラーのいう「市民宗教」とは必ずしも一致しないことを認めたくえて、“Civic Religion”という言葉を用いて仏教国タイの分析を行っている。また、リーガン(Regan, 1976)は、イスラム教国マレーシアを調査し、さらに彼は、マルコフと共に、マレーシアとフランスの比較研究を行っている(Markoff and Regan, 1982)。

しかしながら、こうした比較研究にさいしても、「市民宗教」の定義が問題となる。ハモンド(Bellah and Hammond, 1980)のように、宗教の進化を念頭において、宗教制度と政治制度の分離と同時に、宗教的シンボルの分散を特徴とする「近代」の宗教状況として「市民宗教」を考えるか、あるいはレイノルズのように、多少「市民宗教」を広く取って、様々な社会における政治的生活と聖なるものとの複雑な関係を比較考察するか、立場は様々である。この方面の研究はまだ緒についたばかりであって、検討されるべき点も少なくないが、今後の成果が期待される分野である。

(4) 「市民宗教」の検証

これらの比較的新しい領域ばかりでなく、従来の研究も引き続き行われている。「市民宗教」の実証的研究、とくに質問紙による「市民宗教」の抽出は、トーマスとフリッペン(Thomas and Frippen, 1972)を初めとするが、その後もウインベリー(Wimberley, 1976, 1979, 1980)、ウインベリー、チェランド、フードそしてリップシ(Wimberley, Chelland, Hood and Lipsy, 1976)、ウインベリーとクリステンソン(Wimberley and Cristenson, 1980, 1981)、シュミット(Smidt, 1980)、ジョンストンとタムネイ(Jonston and Tamney, 1981)などが継続的に行っている。トーマスとフリッペンがそうであったように、ウインベリーはベラーの提示した「市民宗教」を表す質問、例えば、「星条旗は聖なるものか」、また、「アメリカは神の選ばれし国か」、などによって「市民宗教」の抽出を試みている。このほかにも大統領選挙から「市民宗教」を分析する試みなど(Wimberley (1980) Johnson and Tamney (1982))様々であるが、ウインベリーを初めとするこれらの研究は、こうした分析の結果から、確かに多くの人々の間に「市民宗教」的な信仰の存在を確認できるとしている。こうした試みは、ベラーが示した「市民宗教」が単なる解釈的な図式ではなく、実際に検証しうる一連の社会的事実として存在することを明らかにしようとするものである。しかしながら、質問紙に

よる分析は、「市民宗教」の場合に限らず、すでにローランド・ロバートソン (Roland Robertson, 1970) が指摘しているように、設定した宗教性の次元というその次元の有効性と、個人の宗教性の測定と社会体系全体としての宗教性の測定との関連性が問題となる。事実ベラーは、ウインベリーが質問紙により抽出した「市民宗教」は、ベラーのいう「市民宗教」の核心をとらえていないと指摘している (Bellah, 1976)。社会における宗教性と、個人における宗教性の分析は、今後とも宗教社会学の中心テーマのひとつとして、研究者の関心の注がれる分野となるであろう。

文献目録

- Baum, Gregory (ed.)
 1981 *Neo-Conservatism: Social and Religious Phenomenon*, New York: Seabery Press.
- Bell, Daniel
 1977 "The Return of the Sacred?" *British Journal of Sociology* 28(4): 419-449.
- Bellah, Robert N.
 1967 "Civil Religion in America." *Daedalus* 96: 1-21
 1970 *Beyond Belief*, New York: Harper and Row. (河合秀和訳『社会変革と宗教倫理』未来社, 1973に大部分が収録されている。)
 1974 "American Civil Religion in the 1970s." Pp.255-272 in Russell B. Richey and Donald G. Jones (eds.), *American Civil Religion*, New York: Harper and Row.
 1974 "New Religious Consciousness." *The New Republic* Nov.23: 33-41.
 1975 *The Broken Covenant: American Civil Religion in the Time of Trial*, New York: Seabery.
 1976 "Response to the Panel on Civil Religion." *Sociological Analysis* 37 (2): 167-168.
 1978 "Religion and Legitimation in the American Republic." *Society* 15 (4): 16-23.
 1978 "Commentary and Proposed Agenda: Normative Framework for Pluralism in America." *Sounding* 61 (3): 355-371.
 1978 "The Role of Preaching in a Corrupt Republic." *Cristianity and Crisis* 38(20): 317-322.
- Bellah, Robert N. and Phillip E. Hammond
 1980 *Varieties of Civil Religion*, San Francisco: Harper and Row.
- Berger, Peter L.
 1979 *The Heretical Imperative: Contemporary Possibilities of Religious Affiliation*, New York: Double Day.
- Boadmann Karthan, and Nancy Fuchs-Kreiner
 1975 "Civil Religion in America." *Religious Education* 70(5): 451-550.
- Bourg, Carroll J.
 1976 "A Symposium on Civil Religion. Precise on R. Fenn, R. Stauffer, R. Wimberley." *Sociological Analysis* 37(2): 141-149.
- Brinkerhoff, Merlin B. and Kathryn L. Burke
 1980 "Disaffiliation: Some Notes on 'Falling from the Faith.'" *Sociological Analysis* 41(1): 41-54.
- Bromley, David G. and Anson D. Shupe, Jr.
 1981 *Strange Gods: The Great American Cult Scare*, Boston: Beacon Press.
- Caird, Dole and Henry G. Law
 1982 "Non-Conventional Beliefs: Their Structure and Measurement." *Journal for the Scientific Study of Religion* 21(2): 152-163.
- Caporale, Rocco and Antonio Grumelli
 1971 *The Culture of Unbelief*, Berkley and Los Angeles: University of California Press.
- Cherry, Conrad
 1970 "American Sacred Ceremonies." Pp. 306-316 in Philip E. Hammond and Bemton Jonson (ed. s.), *American Mosaic*. New York: Random House.
- Coetzee, Jna K.
 1978 "Die Kerk as Verwysingroep vir Lidmate met Verskillende Waarde-Orientasies." *Die Suid-Afirikaanse Tydskrif vir Socilogie* 18: 21-31.
- Cole, William A. and Phillip E. Hammond
 1974 "Religious Pluralism, Legal Development, Social Complexity: Rudimentary Forms of Civil Religion." *Journal for the Scientific Study of Religion* 13: 177-189.
- Coleman, John A.
 1970 "Civil Religion." *Sociological Analysis* 31: 67-77.

- Coleman, Keneth M. and Charles L. Davis
 1978 "Civil and Conventional Religion in Secular Authoritarian Regimes: The Case of Mexico." *Studies in Comparative International Development* 13(2): 56-76.
- Cutler, Donald A(ed.)
 1968 *The Religious Situation*, Boston: Beacon.
- De Azevedo, Thales
 1979 "La 'Religion Civile': Introduction au cas Brésilien." *Archives de Sciences Sociales des Religions*. 24: 7-22.
- Dobbelare, Karel
 1981 *Secularization: A Multi-Dimensional Concept*, *Current Sociology* 29(2).
- Douglas, Mary
 1982 "The Effects of Modernization on Religious Change." *DAEDALUS*. 111 (1): 1-20.
- Doutreloux, Albert and Colette Degive
 1978 "Perspective Anthropologique sur un Mouvement Religieux Actuel." *Social Compass* 25(1): 43-54.
- Faulkner, J. E. and Gordon Deyong
 1966 "Religiosity in 5-D : An Empirical Analysis." *Social Forces* 45: 246-254.
 1969 "On Measuring the Religious Variable : Rejoinder to Weigert and Thomas." *Social Forces* 48: 263-267.
- Fenn, Richard K.
 1970 "The Process of Secularization: A Post-Parsonian View." *Journal for the Scientific Study of Religion* 9: 117-136.
 1972 "Toward a New Sociology of Religion." *Journal for the Scientific Study of Religion* 11: 16-32.
 1974 "Religion and Legitimation of Social Systems." Pp.143-161 in Allan W. Eister(ed.), *Changing Perspectives in the Scientific Study of Religion*, New York : Willey.
 1976 "Bellah and the New Orthodoxy." *Sociological Analysis* 37(2): 160-166.
 1977 "The Relevance of Bellah's' Civil Religion Thesis to a Theory of Secularization." *Social Science History* 1(4): 502-517.
- 1978 *Toward a Theory of Secularization*, Storrs, Connecticut: Journal for the Scientific Study of Religion.
 1982 *Liturgies and Trials: Secularization of Religious Language*, New York: Pilgrim Press.
- Gehrig, Gail
 1981a "The American Civil Religion Debate: A Source for Theory Construction." *Journal for the Scientific Study of Religion* 20(1): 51-63.
 1981b *American Civil Religion: An Assessment*, Storrs, Connecticut: Society for the Scientific Study of Religion.
- Glasner, Peter
 1977 *The Sociology of Secularisation*, London: Routledge & Kegan Paul.
- Clock, Charles Y. and Rodney Stark
 1965 *Religion and Society in Tension*, Chicago: Rand McNally.
 1968 *American Piety*, Berkeley: University of California Press.
- Greeley, Andrew M.
 1972 *The Dimensional Society*, Glenview, Ill, : Scott, Foresmann.
 1981 *The Religious Imagination*, New York: Sadlier.
 1982 *Religion: Secular Theory*, New York: Free Press.
- Hadaway, Gristopher K.
 1978 "Denominational Switching and Membership Growth : In Search of a Relationship." *Sociological Analysis* 39(4): 321-337.
 1980 "Conservatism and Social Strength in a Liberal Denomination." *Review of Religious Research* 21(3): 302-314.
- Hadaway, C. Kirk and Wade Clark Roof
 1979 "Those Who Stay Religious' Nones' and Those Who don't: A Research Note." *Journal for the Scientific Study of Religion* 18(2): 194-200.
- Hale, J.
 1977 *Who Are the Unchurched ?*,
 1980 *The Unchurched: Who They Are and Why They Stay Away*,
- Hammond, Phillip E.
 1976 "The Sociology of American Civil

- Religion: A Bibliographic Essay." *Sociological Analysis* 17(2):169-182.
- Hay, David
1979 "The Spiritual Experiences of the British." *New Society* 48(862):72-74.
- Hogan, Michael
1979 "The Disavowal of Denominational Allegiance." *Journal for the Scientific Study of Religion* 18(4):390-404.
- Hoge, Dean R. and David A. Roozen(eds.)
1979 *Understanding Church Growth and Decline: 1950-1978*, New York: Pilgrim Press.
- Johnston, Stephen D. and Joseph B. Tamney
1982 "The Christian Right and the 1980 Presidential Election." *Journal for the Scientific Study of Religion* 21(2):123-131.
- Kerry, Dean M.
1972 *Why Conservative Churches are Growing*, New York: Harper and Row.
- King, Morton and Richard A. Hant
1969 "Measuring the Religious Variable: Amended Findings." *Journal for the Scientific Study of Religion* 8:321-323.
1972 *Measuring the Religious Dimensions: Studies in Congregational Involvement*, Southern Methodist Studies in Social Science, No.1. Dallas: Southern Methodist University.
1975 "Measuring the Religious Variable: A National Replication." *Journal for the Scientific Study of Religion* 14:13-22.
- Luckmann, Thomas
1967 *Invisible Religion*. New York: Macmillan. (赤池憲昭、ヤン・スィングドー訳『見えない宗教』ヨルダン社、1976)
1977 "Theories of Religion and Social Change." *The Annual Review of Social Science of Religion*, 1-28.
- Machalek, Richard and Michael Martin
1976 "'Invisible' Religions: Some Preliminary Evidence." *Journal for the Scientific Study of Religion* 15:311-321.
- Markoff, John and Daniel Regan
1981 "The Rise and Fall of Civil Religion: Comparative Perspectives." *Sociological Analysis* 42(4):333-352.
- Martin, David
1978a *A General Theory of Secularization*, Oxford: Basil Blackwell.
1978b *The Dilemmas of Contemporary Religion*, Oxford: Basil Blackwell. (阿部美哉訳『現代宗教のジレンマ』ヨルダン社、1981)
- Marty, Martin E.
1974 "Two Kinds of Civil Religion." In Richey Russel and Donald G. Jones (eds.) *American Civil Religion*. New York: Harper and Row.
- McAllister, Edward W.C.
1981 "Religious Attitudes among Woman College Students." *Adolescence* 16(63):587-604.
- McDonell, Killian(ed.)
1981 *Presence, Power, Praise: Documents on the Charismatic Renewal*, Collegeville, Minn: The Liturgical Press.
- McGaw, Douglas B.
1980 "Meaning and Belonging in a Charismatic Congregation: An Interview into Sources of Neo-Pentecostal Success." *Review of Religious Reserch* 21(3):284-301.
- Michel, Michel
1981 "Le Retour du Sacre." *Cahiers Intenati-naux de Sociologie* 28:334-337.
- McIntosh, William A. Letitia T. Alston and Jon P. Alston
1979 "The Differential Impact of Religious Preference and Church Attendance on Attitudes toward Abortion." *Review of Religious Reserch* 20:209-213.
- Mulder, D. C(ed.)
1983 *Secular in Clobal Perspective*, Amsterd-am: VC Boelxhandel/Uitgeverig.
- Needleman, Jacob and Geroge Baker
1978 *Understanding the New Religions*, New York: Seabury Press.
- Nelsen, Hart
1981 "Religious Conformity in an Age of Disbelief: Contextual Effects of Time, Denomination, and Family Processes upon Church Decline and Apostasy." *American Sociological Review* 46(5):

- 632-640.
- Nelsen, Hart and Robert Evereth and Douglas, Mader
 1976 "A Test of Yinger's Measure of Non-Doctorinal Religion: Implications for Invisible Religion as a Belief System?" *Journal for the Scientific Study of Religion* 15: 263-267.
- Neuhaas, Richard J.
 1970 "The War, the Church, and Civil Religion." *Annals of American Academy of Political and Social Science* 387:128-140.
- Novac, Michael
 1974 *Choosing Our King*. New York: Macmillan.
- Perry, Everett, James H. Davis, Ruth T. Doyle and John E. Dyble
 1980 "Toward a Typology of Unchurched Protestants." *Review of Religious Research* 21: 388-404.
- Phelan, Michael
 1979 "Transcendental Meditation: A Revitalization of the American Civil Religion." *Archives de Sciences Sociales des Religions* 48(1): 5-20.
- Regan, Daniel
 1976 "Islam, Intellectuals and Civil Religion in Malaysia." *Sociological Analysis* 37(2): 95-110.
- Reynolds, Frank E.
 1977 "Civic Religion and National Community in Thailand." *Journal of Asian Studies* 36: 267-282.
 1978 "Buddhism as Universal Religion and as Civic Religion: Some Observation on a Recent Tour of Buddhist Centers in Central Thailand." Pp. 194-203 in Bardwell L. Smith(ed.), *Religion and Legitimation of Power in Thailand, Laos, and Burma*. Chambersburg, Pa: ANIMA.
- Richey, Russel E. and Donald G. Jones(eds.)
 1974 *American Civil Religion*, New York: Harper and Row.
- Robbins, Thomas
 1976 "The Last Civil Religion: The Unification Church of Rev. Sun Myung Moon." *Sociological Analysis* 37(2): 111-125.
- Robbins, Thomas and Dick Anthony(ed.)
 1981 *In Gods We Trust: New Patterns of Religious Pluralism in America*. New Brunswick, New York: Transaction Books.
- Robertson, Roland
 1970 *Sociological Interpretation of Religion*, New York: Schocken Book. (田丸徳善監訳『宗教の社会学 文化と組織としての宗教理解—』川島書店、1983)
 1978 *Meaning and Change: Explorations in the Cultural Sociology of Modern Societies*, New York: New York University Press.
- Robertson, Roland and Burkhard Holzner(eds.)
 1979 *Identity and Authority: Explorations in the Theory of Society*, New York: St. Martin' Press.
- Rodriguez, P. James
 1978 "Análisis Crítico al marco Teórico de la Secularización en las Relaciones Religión-Sociedad." *Revista Paraguaya de Sociología* 15: 35-56.
- Roof, Wade Clark
 1977 "Yinger's Measure of Non-Doctorinal Religion: A Northeastern Test." *Journal for the Scientific Study of Religion* 16(4): 403-408.
- Roof, Wade Clark and Christopher K. Hadaway
 1979 "Denominational Switching in the Seventies: Going beyond Stark and Glock." *Journal for the Scientific Study of Religion* 18(4): 363-377.
- Sinner, Stephen
 1970 "Religious Membership and Religious Preference: Equal Indicators of Religiosity?" *Journal for the Scientific Study of Religion* 9: 273-279.
- Smidt, Corwin
 1980 "Civil Religious Orientation among Elementary School Children." *Sociological Analysis* 41(1): 25-40.
- Snow, David A. and Richard Machalek
 1982 "On the Presumed Fragility of Unconventional Beliefs." *Journal for the Scientific Study of Religion* 21(1):15-26.

- Stauffer, Robert E.
 1973 "Civil Religion, Technocracy and the Private Sphere: Further Comment of Cultural Integration in Advanced Societies." *Journal for the Scientific Study of Religion* 12(4): 415-425.
- Tipton, Steven M.
 1982 *Getting Saved from Sixties: Moral Meaning in Conversion and Cultural Change*, Berkeley: University of California Press.
- Thomas, Michael C. and Charles C. Flippen
 1972 "American Civil Religion: An Empirical Study." *Social Forces* 51: 218-225.
- Tomka, Miklos
 1981 "A Balance of Secularization in Hungary." *Social Compass* 28(1): 25-42.
- Vernon, Glenn
 1968 "The Religious 'Nones': A Neglected Category." *Journal for the Scientific Study of Religion* 7: 219-229.
- Welch, C. G.
 1978 "Religious Non-Affiliates and Worldly Success." *Journal for the Scientific Study of Religion* 17(1): 59-61.
- Williams, Peter E.
 1980 *Popular Religion in American Symbolic Change and the Modernization Process in Historical Perspective*, Englewood Cliffs, New Jersey: Prentice Hall.
- Wilson, Bryan R.
 1976 *Contemporary Transformation of Religion*, Oxford: Clarendon. (井門富二夫・中野毅訳『現代宗教の変容』ヨルダン社、1979)
 1979 "The Return of the Sacred." *Journal for the Scientific Study of Religion* 18(3): 268-280.
- Wilson, Bryan R(ed.)
 1981 *The Social Impact of New Religious Movements*, New York: Rose of Sharon Press.
- 1982 *Religion in Sociological Perspective*, Oxford: Oxford University Press.
- Wimberley, Ronald C.
 1976 "Testing the Civil Religion Hypothesis." *Sociological Analysis* 37: 341-352.
 1978 "Dimensions of Commitment: Generalizing from Religion to Politics." *Journal for the Scientific Study of Religion* 17(3): 225-240.
 1979 "Continuity in the Measurement of Civil Religion." *Journal for the Scientific Study of Religion* 40(1): 59-62.
 1980 "Civil Religion and the Choice for Nixon in 1972." *Social Forces* 59: 44-61.
- Wimbeley, Ronald C. and James A. Cristenson
 1980 "Civil Religion and Church and State." *Sociological Quarterly* 21: 35-40.
 1981 "Civil Religion and Other Religious Identities." *Sociological Analysis* 42(2): 91-100.
- Wimbeley, Ronald C., Donald A. Chelland Thomas C. Hood, and Lipsy C. M.
 1976 "The Civil Religious Dimension: Is it There?" *Social Forces* 54: 890-900.
- Wuthnow, Robert
 1978 *Experimentation in American Religion; The New Mysticism and Their Implications for the Churches*, Berkeley: University of California Press.
- Yinger, Milton
 1969 "A Structural Examination of Religion." *Journal for the Scientific Study of Religion* 8: 88-99.
 1982 *Countercultures: The Promised Peril of a World Turned Upside Down*, New York: The Free Press.